

助け合いながら避難行動を！

「地域で防災」を合言葉に、地域の防災力を高めよう！

地域の防災力を高める 自助・共助・公助

地震や洪水、台風等の自然災害による被害を最小限に抑えるためには、自分の命は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政の救助・支援「公助」の取り組みが必要です。

大規模災害時では、公助の機能に限界がありますので、「自助・共助・公助」が連携することにより、住民と行政が一体となって地域防災力を高めることが重要となります。

いざという時に備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。



自主防災組織の活動で地域防災力の向上を！

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯意識のもと、

地域住民が自主的に防災・減災活動を行う組織です。

地域で自主防災組織を作るときや活動するときは、町に相談してください。資機材購入や避難訓練経費などの補助をしています。

自主防災組織の活動に参加しましょう

地区会の代表者や役員が、自主防災組織の代表者や役員を兼ねている場合が多く、地区会の活動と一体的に防災活動を行っています。

あなた自身とあなたの地域を守るために自主防災組織の活動に積極的に参加して助け合う体制を築きましょう。

- 地域の防災訓練や活動に積極的に参加し、防災の知識やAED・消火器などの使い方を身につけましょう。
- 日頃からご近所の方々とのコミュニケーションを深めましょう。
- 災害時に備え、日頃から支援が必要な人を知っておきましょう。
- 地域で初期消火や避難誘導、救出・援護等ができるよう、必要な資機材を整備しておきましょう。
- 災害時には、避難誘導や、救出・救護活動、避難所運営に協力しましょう。
- お年寄りや体の不自由な方などの避難に協力しましょう。



「避難行動要支援者」制度

高齢者、障がい者など災害時において特に支援が必要な人（避難行動要支援者）の名簿を作成しています。

この名簿を地域の支援者と共有することで、普段の見守りや災害があったときの手助けなど、地域の助け合い（共助）の力を強くする体制づくりを進めています。

